



奈良県感染症情報

平成 31 年 第 11 週(3 月 11 日～ 3 月 17 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 海外渡航を予定されている皆様へ

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	7.00	(6.29)	➡	↗	➡	↗↗
2	インフルエンザ	2.47	(2.76)	⬇	⬇	⬇	⬇
3	A群溶連菌咽頭炎	2.29	(2.41)	➡	➡	↗	⬇
4	RS ウイルス感染症	1.00	(0.91)	⬆	⬆	↗	➡
5	突発性発しん	0.44	(0.21)	⬆	⬆	⬆	⬇

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗↗**急増、**⬆**増加、**↗**やや増加、**➡**横ばい、**⬇**やや減少、**⬇**減少

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告数は、横ばいです。定点あたり報告数が 1.0 を下回るまでは注意が必要です。引き続きうがい・手洗いや咳エチケットなど、予防対策を行いましょう。

感染性胃腸炎の報告数は、第 10 週よりも増加しています。県内の保育所ではロタウイルスによる集団感染性胃腸炎事例が発生しています。ロタウイルスは感染力が非常に強く、感染者の便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれます。トイレの後や食事の前後などこまめな手洗いを心がけ、おむつの交換後は必ず流水と石けんによる手洗いを行いましょう。また、消毒薬は、アルコールでは効き目がないため、次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)を用いましょう。

◆ 海外渡航を予定されている皆様へ ◆

2019 年のゴールデンウィークは 10 連休となる方もいるため、海外へ渡航される方が多いことが予想されます。海外では、日本では現在あまり流行していない病気や、日本で発生していない、動物や蚊・マダニなどが媒介する病気が流行していることがあり、注意が必要です。海外で感染症にかからないようにするためには、正しい知識と予防法を身に付けることが大切です。

● 定期の予防接種について

予防接種スケジュールを確認の上、年齢相応のものがすべて終了しているか、母子手帳などで海外渡航前に必ず確認してください。

参考：国立感染症研究所 日本の予防接種スケジュール

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/vaccine-j/2525-v-schedule.html>

● 予防接種の計画は余裕をもって早めに行いましょう

- 予防接種の種類によっては、複数回接種する必要があるものがあります。
- 黄熱予防接種のように、国や地域によってはたとえその地域で流行がなくても、受けていなければ入国できなくなるものもあります。
- 必要な予防接種は、渡航先、渡航期間、渡航形態、自身の年齢、健康状態、予防接種歴などによって異なります。事前に渡航先の感染症情報を収集しましょう。
- なるべく早く(できるだけ出発 3 か月以上前から)、トラベルクリニック、渡航外来等の医療機関で、接種するワクチンの種類と接種日程の相談をしてください。



参考：厚生労働省検疫所 FORTH <https://www.forth.go.jp/index.html>

◆ 定点把握感染症報告状況 ◆

平成 31 年 第 11 週 3 月 11 日 ~ 17 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	136 (2.47)	30 (2.14)	37 (2.64)	29 (2.64)	23 (2.30)	2 (1.00)	15 (3.75)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	34 (1.00)	11 (1.22)		13 (1.86)	10 (1.67)			
咽頭結膜熱	11 (0.32)	2 (0.22)	4 (0.44)		5 (0.83)			
A群溶連菌咽頭炎	78 (2.29)	7 (0.78)	15 (1.67)	8 (1.14)	46 (7.67)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	238 (7.00)	43 (4.78)	55 (6.11)	48 (6.86)	64 (10.67)	9 (9.00)	19 (9.50)	
水痘	12 (0.35)	5 (0.56)		6 (0.86)	1 (0.17)			
手足口病	10 (0.29)	2 (0.22)	7 (0.78)		1 (0.17)			
伝染性紅斑	3 (0.09)	3 (0.33)						
突発性発しん	15 (0.44)	3 (0.33)	2 (0.22)	6 (0.86)	4 (0.67)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.11)						
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	7 (0.70)	3 (1.00)	3 (1.00)		1 (0.50)			
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)		2 (1.00)					
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	14 (2.33)		2 (1.00)		3 (3.00)		9 (9.00)	

◆ 全数把握感染症報告状況 ◆ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(郡山2)
4類感染症	
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症1件(奈良市1) 水痘(入院例)1件(奈良市1) 梅毒2件(奈良市1、郡山1)、風しん2件(郡山1、中和1)

◆ 第 11 週のトピックス ◆

◆ 県内における麻しん(はしか)患者の発生について
<http://www.pref.nara.jp/item/210492.htm#moduleid17426>

平成31年3月18日、郡山保健所管内の医療機関から麻しんの発生届がありました。

● 医療機関の皆様へ ●
 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんの発生を意識した診療をお願いします。患者(疑い含む)は、個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策を実施してください。臨床症状から麻しんと診断した場合には速やかに保健所へ届出ください。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男		1		4	4	4	4	3	5	1	4	2	12	1	5	3	6	2	3	3	67	5385	
	女			1	4	3	2	3	6	1	3	1	4	7	1	5	7	8	3	5	4	69	5528	
RSウイルス感染症	男	2	5	6	4	2	1															20	115	
	女	1	2	3	5	2	1															14	87	
咽頭結膜熱	男			1	3	1					1			2								8	96	
	女			2	1																	3	58	
A群溶連菌咽頭炎	男			4	5	7	4	11	4	2	6	2	2									47	360	
	女			1	7	8	1	6	3	2	2	1										31	310	
感染性胃腸炎	男		5	18	12	16	12	10	8	7	11	6	11	3	10							129	1253	
	女		2	10	14	8	15	11	8	6	9	2	9	4	11							109	1143	
水痘	男				1			1				1	2									3	56	
	女									2	1		4									9	51	
手足口病	男		1	4			1	1														7	40	
	女			2	1																	3	40	
伝染性紅斑	男			1				1														2	20	
	女							1														1	17	
突発性発しん	男		3	3																		6	59	
	女		2	6	1																	9	53	
ヘルパンギーナ	男																						4	
	女																						3	
流行性耳下腺炎	男							1															6	
	女																					1	8	
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男							1								1						2	32	
	女				1		1						1			1						5	35	
細菌性髄膜炎	男																						2	
	女																							
無菌性髄膜炎	男																						1	
	女																							
マイコプラズマ肺炎	男				2																	2	8	
	女																						7	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		5	3												1						9	10	
	女		3	2																		5	7	

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H31 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均

